

平成17年度事業計画

事業概要

財団創立27周年を迎え、弊財団も「無機材料の研究助成」に特化した特色ある公益法人として関係学協会の評価をいただいております。同時にその社会的使命をより一層果たして行かなければならないと考えます。

一方財産の運用に関しましては、平成17年度も景気回復の踊り場を指摘する向きもあり、低金利水準が当面続く状況であることから、財政面では厳しい環境が続くと思われまます。

本年度も前年度に引き続き、事業活動の継続とその普及に努めて参りますが、困難な経済情勢のなかでも事業活動が維持できるように、財政基盤の充実に努めます。

具体的な事業活動は以下の通りです。

- 1 研究助成事業について第27回研究助成金の交付、および第28回研究助成事業の募集
- 2 国際学会等への助成
- 3 海外渡航研究者への助成
- 4 研究成果普及事業として、学術講演会の開催および成果報告書の出版
- 5 体制の整備

事業内容

1 研究助成事業

(1) 平成17年度(第27回)研究助成事業

前年度に募集選考した候補者に対し助成金を交付する。

助成規模は総計約6,100万円とし、うち国内5,400万円(約40件)、海外700万円(約10件)とする。

国内の研究助成贈呈式を平成17年4月18日に開催する。

(2) 平成18年度(第28回)研究助成事業

平成18年度研究助成事業募集要領を作成し、候補者を募集する。

助成規模は平成17年度と同程度とする。

2 国際学会への助成事業

平成17年度の国際学術交流に対し助成対象を調査選考し、助成金を交付する。

平成17年度の規模は150万円程度とする。

3 渡航研究者の助成事業

助成希望者に対し選考を行い助成する。
助成規模は50万円程度とする。

4 成果普及事業

- (1) 平成14年度助成の成果報告書を出版する。(8月予定)
平成15年度助成の成果報告書の編集を行う。
- (2) 平成14年度助成の成果報告会として平成18年1月に無機材料に関する学術講演会を企画実施する。

5 体制の整備

- (1) 一層の事業充実のため、前年に引き続き寄附金の募集を行う。
- (2) 財団の事業につき大学、各種研究機関、寄附者および広く一般に対し広報活動を行う。
- (3) 平成18年度から導入される新公益法人会計基準に則った会計処理が行えるよう準備を行う。
- (4) 制度改革に関連して、準備を進める。

以上